PART2 る・れの識別

「る・れ」の識別

【識別対象】

1 「　」「　」「　」の助動詞「る」
2 「　」「　」の助動詞「り」
3 活用語の一部

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	る							型
	り							型

（例） 読め**る**

●四段・ナ変・ラ変の㊍

●サ変㊍・四段㊀

★〈「る・れ」の見分け方〉＝「　　」の「　　」

1　「　　」＋る・れ→助動詞「る」

（※「る・れ」の上が動詞になっているか要注意！）

（例）

いづくよりや帰ら**れ**たりけん、…

あやしきさまな**る**衣を着て、…

2

「　」＋る・れ→助動詞「り」
（※「る・れ」の上が動詞になっているか要注意！）

（例）外に渡せ**る**ふみ見れば、…
　　　生まれてはべ**れ**ば、…

3

「　」＋る・れ→活用語の一部

（例）ゆかしくおぼゆ**る**ままに、…

〔練習〕次の傍線部の「る」はそれぞれ何？

飲まる

飲める

受くる
書ける
書きける
書きたる

問七　「口惜しき道に入れり」の傍線部の助動詞の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　過去　イ　完了　ウ　受身　エ　自発　オ　可能

問八　次の傍線部ａ・ｂの助動詞について、その終止形をそれぞれ答えよ。

弟殿には人柄・世おぼえの劣り給へ[a]ればにや、…
「そこは申さ[b]れぬか」とのたまはせければ…

ａ＝　　　ｂ＝

問九　傍線部ａ・ｂの文法的説明として最も適切なものを、次の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

昔より、とく詠め[a]るにかしこき事なし。
ただにすぐ[b]るやうやあると、…

ア　動詞の活用語尾の一部
イ　受身の助動詞
ウ　自発の助動詞
エ　可能の助動詞
オ　完了の助動詞

ａ＝　　　ｂ＝

問十　次の傍線部のうち、活用形の相違を除き、文法的性格が異なるものはどれか。最も適切なものを選べ。

「とよかげ」となのらせたまへり(ア)。
なに事もあまりすぐれさせたまへれ(イ)ば、…
わかれの歌よませ給へる(ウ)、…
たちいりてみ給ふれ(エ)ば、…

問十一　「思へれど」の傍線部「れ」と同じ意味を持つものを、次の中から一つ選べ。

ア　食はれじ　　イ　たまはる　　ウ　聞き入るる
エ　申したれ　　オ　たまへれ

問十二　「文字みな消えてかたばかり見ゆるを、…」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　受身の助動詞　　イ　自発の助動詞　　ウ　可能の助動詞
エ　完了の助動詞　　オ　動詞の活用語尾の一部

問十三　傍線部の助動詞の意味は何か。次の中からそれぞれ選べ。

抱きたてまつりてゐたまへれ[a]ば、…
「まろも大将に抱かれ[b]む」

ア　受身　　イ　可能　　ウ　完了　　エ　自発　　オ　推量　　カ　尊敬

a＝　　　　b＝

問十四　「心の苦しみを知れれば、…」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　受身　　イ　自発　　ウ　可能　　エ　存続　　オ　推量

問十五　「木の枯れて朽ち残れるが立てる下に、…」の傍線「る」の文法的意味・用法と同じものを、次の中から選べ。

ア　うらうらに照れる春日にひばりあがり心悲しもひとりし思へば
イ　うつくしきもの、瓜にかきたるちごの顔
ウ　いかめしき御堂ども建てて、多くの人なむ造り営み侍るめる
エ　家の造りやうは夏をむねとすべし、冬はいかなる所にも住まる
オ　明けぬれば暮るるものとは知りながらなほうらめしきあさぼらけかな

問十六　傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中からそれぞれ選べ。

心とりどりに言ひあへ[a]るも、いとをかしければ、…

残るところなくはるかに思ひやら[b]るることは、…

ア　受身の助動詞　　イ　尊敬の助動詞　　ウ　自発の助動詞

エ　存続の助動詞　　オ　動詞の活用語尾

a＝　　　b＝

第11講 PART2 確認問題

① 傍線部の「る」のうち、文法的意味が異なるものはどれか。最も適切なものを次の中から選べ。

ア 住める
イ 知れる
ウ おぼしめさる
エ まされる

② 「雨しきりに降りて、臥（ふ）せる上よりもり、…」の傍線部の文法的意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア 自発　イ 受身　ウ 可能　エ 完了

③ 傍線部a・bの文法的意味の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

やがて面影は推しはから[a]るる心地するを、…
この殿のわたらせ給へ[b]れば、…

ア a 自発　b 完了　　イ a 自発　b 尊敬
ウ a 尊敬　b 完了　　エ a 尊敬　b 尊敬

④「いづれのときにか忘るる」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　自発の助動詞
イ　動詞の活用語尾の一部
ウ　完了の助動詞
エ　可能の助動詞

⑤「知らぬ人の中にうち臥(ふ)して、つゆまどろまれず。」の傍線部「れ」の文法的意味・用法と同じものを、次の中から選べ。

ア　鶯の関を過ぎて湯尾峠(ゆのをたうげ)を越ゆれば、…
イ　おもひのほかなる人のいへれば、人々あやしがる。
ウ　物はすこし覚ゆれども、腰なん動かれぬ。
エ　後徳大寺(ごとくだいじ)大臣の、寝殿に鳶(とび)ゐさせじとて縄をはられたりけるを、…

第11講 PART2 解答

問七　イ
問八　a り　b る
問九　a オ　b ア
問十　エ
問十一　オ
問十二　オ
問十三　a ウ　b ア
問十四　エ
問十五　ア
問十六　a エ　b ウ

第11講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① ア、イ、エはそれぞれ上がエ段で、「住む」「知る」「まさる」という動詞の已然形なので、傍線部の「る」は完了の助動詞「り」。ウのみ上がア段の未然形なので助動詞「る」。よって、ウが正解。

② 上の「臥せ」はサ行四段活用動詞「臥す」の已然形。上がエ段で「臥す」という動詞なので、設問の「る」は完了の助動詞「り」。よって、エが正解。

③ aは助動詞「る」の連体形。上に「推しはかる（＝想像する）」と心情動詞があるので、自発。bは、上がエ段で「給ふ」という四段活用の補助動詞なので、完了の助動詞「り」。よって、正解はア。

④ 上がウ段なので、上からの一語（活用語尾）のはず。さらに上に係助詞「か」があるので、傍線部は連体形（の一部）。ラ行下二段活用動詞「忘る」の連体形は「忘るる」。よって、正解はイ。

⑤ 下に打消「ず」があるので、設問の「れ」は可能。同じく下に打消「ぬ（＝「ず」の連体形）」があるのはウ。アはヤ行下二段活用動詞「越ゆ」の已然形活用語尾。イは完了。エは尊敬。よって、正解はウ。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ア　④ イ　⑤ ウ